



4. いまさらながら、「教会」ってなに??

(1. 1) 教会の使命)

[項目のねらい]

この世界に存在する教会が、根本的にどのような意味や役割をもつのかを確認する。

◇分ち合いのポイント◇

- ・第一の質問「思い浮かぶこと」や第二の質問「イメージ」「見方」について分ち合うとき、出された事柄を順に並べて模造紙などに書き出すと分ち合いが進めやすい。
- ・第三の質問は必ず取り上げること。質問に答える前に『憲章』の内容を全体で読み合わせ、参加者同士で意味を確認しあったり、適当な人から解説を受けたりするのがよい。

5. でもやっぱり司祭やシスターが中心では?

(1. 2) 教会における信徒)

[項目のねらい]

キリスト信者は、キリストによって集められた民として皆平等であり、役割は異なっても同じ使命を果たすことを確認する。

◇分ち合いのポイント◇

- ・家庭・職場・学校・地域社会など、共同体が生き生きとしたものになるには、そこに関わるさまざまな立場・役割の人たちが、お互いにどのような関わり方をする必要があるかに気付く。誰もが、同じ目的のために、それぞれ異なる役割を担うことを確認する。
- ・共同体の基本的な構成としては、①一人が主となり他のものが従う、②一部のグループが主となり、他が従う、③みんなが対等に関わる(役割分担はある)、という形が考えられる。教会はどの形がよいかということよりも、それぞれの強み・弱みに気付けるとよい。

6. 「祭司職・預言職・王職」ってなんのこと?

(2. 1) 教会の使命としての使徒職)

[項目のねらい]

キリスト信者が担う使徒職は大きく三つに分けられるが、それぞれがどのような働きを指すのか理解する。できるだけ現実に即した、具体的なイメージを持てるようにする。

◇分ち合いのポイント◇

- ・いずれの質問についても、自分の生活の中での具体的な事柄について振り返る。
- ・《祭司職》「祝う」とはどういうことかを確認し、また、それがどのようにすればよいお祝いになるか、反対にその場が損なわれるのはどのような場合かを考える。それによって、私たちが「祭司職」をよりよく担うための心得となるものに気付けるようにする。
- ・《預言職》人びとが神に向かって生きるために、どのように働きかけることができるのかに気付く。言葉や直接的な行動だけに限らず、さまざまな形の「預言職」が可能なきことに気付けるとよい。